

自然の中で日中仲良く

浙江省、県内外児童生徒
美山で交流キャンプ



ゲームで親睦を深める日本と中国の児童生徒たち—22日、美山町上味見生涯学習施設

日本・中国子ども自然体験交流キャンプが二十二日、美山町の上味見生涯学習施設で始まった。県内外の児童生徒たちが、中国浙江省の中学生

とともに野外活動などを体験。大自然の中の活動を通して、言葉や文化の違いを超えて友情をはぐくむ。県内の自然を生かした

体験教室を開いてたくましい子ども育成を図る福井市のNPO法人自然体験共学センター(辻一憲理事長)が中国浙江省人民対外友好協会や県日本中国友好協会などの協力を得て初めて開催。福井市や敦賀市、大阪府、兵庫県などの児童生徒と、杭州市第十三中の生徒計四十人が参加した。上味見生涯学習施設での開会式では、同じ漢字を使うが日中で意味が違う言葉があることを学んだり、「ニーハオ」「こんにちわ」と互いの国の言葉であいさつし合った。また、ゲームで親ほくを深めた。一行は二十六日まで同町に滞在。近くの山に登ったり、生き物の観察、野外炊きさんなどを行う。